

今年の夏も、無理のない範囲で

みんなので節電

今年の夏は、安定供給に最低限必要とされる電力を確保できる見込みですが、これは、市民の皆さんによる節電の実施を前提としています。

そのため、引き続き無理のない範囲での節電にご協力をお願いします。

期間
7月1日(水)～9月30日(水)

平日9時～20時

※8月13日、14日は除く

問い合わせ

市エネルギー協働課環境エネルギーグループ

23・6386

節電目標
数値目標なしの節電

結果発表

節電チャレンジコンテスト ECO アイデアコンテスト

市では、市民の皆さんに冬期間の一層の節電に取り組んでいただくため、「節電チャレンジコンテスト」と、新エネルギー・省エネルギーに着目したアイデアを募集する「ECO アイデアコンテスト」を実施しました。

◆節電チャレンジコンテストの結果

応募世帯 / 69 世帯 応募総数 / 157 口
使用電力削減量 / 10,130 kWh 平均削減率 / 16.6%

◆ECO アイデアコンテストの結果

応募総数 / 24 口

審査によって決定した主なECO アイデア

- 電気炊飯器を使用していたが、1年前から土鍋でご飯を炊いている。土鍋では炊飯時間が18分となっており、大変エコである。
- 居間とリビングをLEDに変えた。
- 風力、水力を使った環境にやさしいエネルギーを導入すること。
- 加湿器を使用せず、タオル等を湿らせて、部屋の湿度を上げている。
- 冷蔵庫の開閉を減らすために、入っている物をホワイトボードなどに記入しておくこと。
- ごはんを温めるために、1食ずつ小分けにして蒸し器で温めている。
- キャンプなどで使い残した乾電池を再利用し、懐中電灯の電源に用いている。
- 懐中電灯の使用により、玄関照明、階段照明、駐車フロアで使用していた電力を削減できた。
- 暖房を熱効率の良いものに変える。間仕切りのない部屋については、のれん等を用いて、暖かい空気を逃さないようにする。

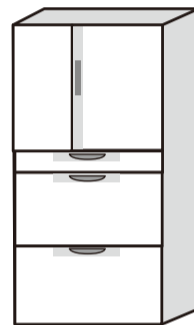
家庭でできる節電メニュー



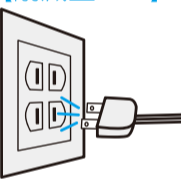
不要な照明はできるだけ消しましょう。
【削減量 7%】



画面の輝度を下げて必要な時以外は消しましょう。
【削減量 2%】



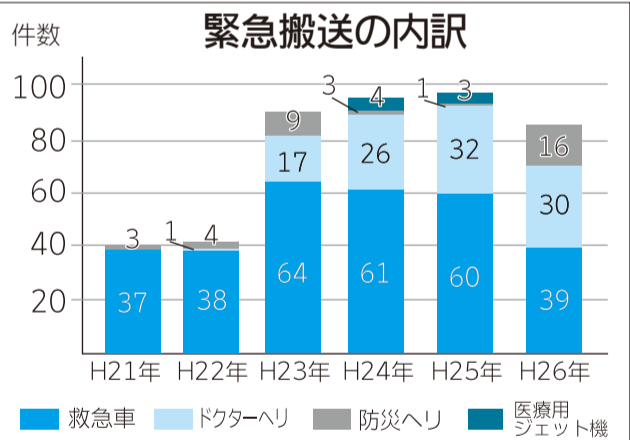
設定温度を「強」から「中」に変え、扉の開ける時間を減らし、食品をできるだけ詰め込みすぎないようにしましょう。
【削減量 2%】



長時間使用しない器具のコンセントは抜きましょう。
【削減量 3%】



温水のオフ機能、温水タイマーの節電機能を利用しましょう。
【削減量 1%】



平成23年度から心臓疾患は主に名寄市立総合病院に搬送しなければならなくなり、搬送件数は倍の80件以上に増加しています。当初、循環器疾患の搬送は内科医の仕事としてス

時間が短く済み医療スタッフの負担も少ないことから、日中での天候が許せば、まずドクターヘリに出勤を申請します。ドクターヘリの出動基地は旭川赤十字病院にあり、積載燃料の制限からその運航範囲は概ね120kmと想定されていますが、稚内はその遥か圏外に位置しています。

問い合わせ

市立稚内病院庶務課
23・2771

救急搬送は1日がかかりの大仕事になる場合も

当院で医師の負担になっている仕事のひとつに救急搬送があります。北大医学部循環器内科教室が撤退する平成22年度以前にも年間40件ほどの救急搬送がありました。

可能な限り「ヘリ」で搬送

市の救急車は全部で3台です。過去に救急搬送が2件続き、市内に救急車が1台しかない事態となった事があり、ドクターヘリや防災ヘリなどで搬送することが原則になっています。

天候不良でドクターヘリが運航不能の場合や、搬送先が道北ドクターヘリの運航圏外の札幌などの場合、防災ヘリを利用することになります。

市立病院 だより 15



院長 くにえだ やすゆき 國枝 保幸

稚内に飛んでくる場合、一旦、「豊富ヘリポート」で給油をして北防波堤ドーム公園の広場などに着陸します。

また、ヘリが旭川赤十字病院を離陸すると同時に稚内から救急車で豊富まで搬送し、傷病者を引き継ぐ方法もあります。

前者は当院側の医療スタッフの負担が少なくなり、後者は搬送時間短縮が図れるのがメリットです。

天候によっては防災ヘリで搬送

防災ヘリは、搬送に同乗した医師は搬送後、通常の公共交通機関で自力で稚内まで戻らなければなりません。